

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3単位
対象学年	第3学年 情報総合科 情報・アートコース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	本コースは、就職・進学と進路がさまざまであるのが特徴である。そこで、社会に出る時に必要である、漢字力・国語常識に加え、国語総合で学んだ読解・鑑賞・読書の方法の習得を目指し、ものの見方、考え方を深めることが目標である。				
学習内容の概要	三省堂「明解 現代文B」を授業の基本としつつも、漢字・国語常識については、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」を用い、読解力・表現力・国語常識を養う。				
学習方法	現代文の読解力を養うために、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語常識・漢字の力を養成するために、「国語必携パーフェクト演習」を用いて、書く力、読む力のスキルアップをする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂「明解 現代文B」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」 尚文出版「常用漢字クリア」 その他自主教材				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	文字と語句	基本熟語・難読語 (P24・P25)	3	頻出の漢字の読みに慣れるために、繰り返し漢字演習を行う。 異文化について書かれた文章を読み、人と人との関わりについて考えを深める。	
	随想一	待つということ	10		
5	文字と語句	難読語・四字熟語 (P50・51)	3	漢字演習と共に、小テストを通じて、漢字の読解を徹底する。 人間と自然との関係について考えを深め、自然のなかで生きる意義を考える。	中間考査
	随想一	春	6 10		
6	文字と語句	特殊な漢字・反対語・同音異義語 (P76・77)	4	重要な漢字を書き取ることが出来るように、繰り返し演習を行う。 擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心を動きを理解する。	期末考査
	小説(一)	水かまきり	10		
7		表現問題 (P82～P89)	6	書き取りの演習と共に、小テストを行い学力を定着させる。	終業式
8	文字と語句	表現問題 (P90・91)	3	四字熟語や、同義語・対立語などを、内容を説明しながら演習する	始業式
9	小説(一)	神様探案隊	10	登場人物がそれぞれの場面でのどのような思いで行動しているか理解する。 言葉の由来を確かめながら、演習を行い、定着を目標とする。	
	文字と語句	表現問題 (P92～P97)	4		
10	評論一	コンコルドの誤り	10	「コンコルドの誤り」に象徴されているものが何であるかを理解する。 過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に漢字を復習する。	中間考査
		進学・就職試験対策	3		
11	随想二	創造する力	10	人間とチンパンジーとの比較により見いだせる人間独自の特徴を捉える。 過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に熟語を復習する。	期末考査
		進学・就職試験対策	3		
12	小説二	ころろ	8	人と人との間に横たわる闇と孤独、エゴイズムを鋭く見つめている点を理解する。	
1	小説二	ころろ	8	「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて理解を深め、自分なりに主題に対する考えを深めていく。	卒業考査
2		進学・就職対策 自主教材	12	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。	
3					

教科名	地歴科	科目名	世界史A	単位数	2単位
対象学年	第3学年 情報総合科		履修形態	必修	授業形態 一斉授業
科目の目標	世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
学習内容の概要	○文明のおこり ○諸地域世界の形成と交流 ○一体化に向かう世界				
学習方法	教科書・ノート・地図・資料集の活用をベースに基礎的知識を学び、世界の歴史の流れや各文化の特色、現代世界の形成の歴史的過程を把握させる。				
評価の観点・ 評価方法	基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。 定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	山川出版社「改訂版世界の歴史」				
その他					

**年間授業計画**

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1部 世界の一体化と日本 第1章 世界の諸文明 1 東アジア世界 I	東アジアの風土と人々、中国文明の誕生、秦・漢代、北方民族の侵入と隋・唐の統一	2	文明化を進める日本にとっての最初のモデルとして、隋・唐帝国の構造・文化に関心を持つことが出来る。	入学式
			2		
			2		
5	2 東アジア世界 II	東アジア世界の形成、東アジア世界の変容、北方民族と中国の一体化	2	「朝貢の使者」の図版から、様々な地域から使者が来訪する中華帝国の広がりについて関心を持つことが出来る。	中間考査
			2		
			2		
6	5 西アジア世界 I 6 西アジア世界 II	西アジアの風土と人々、古代の大帝国、文字の誕生、一神教のふるさと  イスラーム教の誕生、カリフの時代、トルコ系・モンゴル系の人々の登場。	2	人類最古の農耕文明が形成された西アジア世界の巨大な歴史的意義に気付くことが出来る。  アフリカから東南アジアに及ぶ地理的広がりから、ムスリムの支配領域としての「イスラーム世界」の歴史的由来に関しての主体的な関心を持つことが出来る。	
			2		
			2		
7	7 古代地中海世界 8 ヨーロッパ世界 I	ヨーロッパの風土と人々、古代ギリシャ世界、ヘレニズムの誕生、古代ローマ帝国  ゲルマン人の国々、フランク王国、封建社会の形成、ビザンツ帝国(東ローマ帝国)	2	近代世界にとっての「古典古代」としてのギリシャ諸都市国家やローマ帝国の歴史的意義について考察できる。  西欧の中世社会を、封建的主従関係と領主制の2層構造として、立体的に考察できる。	期末考査  終業式
			2		
			2		
8	9 ヨーロッパ世界 II	都市と商業の復活、ローマ教会の発展、十字軍、王権と集権国家の成長	2	教科書の年表などを用いて、叙任権闘争を始めとする聖俗の権力間の争いを整理し、その背景について多面的に考察できる。	始業式
9	第2章 世界の一体化の始まり 10 16世紀の世界と一体化の始まり 11 明代の東アジア 12 清代の東アジア	ユーラシアの繁栄、アジアの通商、香辛料と銀明の建國と発展、近接諸國との動向、北虜南倭と明の衰退  清の統合東アジア世界の拡大、清代の社会、東アジアとヨーロッパの文化交流	2	16世紀の世界にあっては、物質的な豊かさや高度な精神文化の中心は、繁栄するアジア諸國にあったという点に注目できる。世界の一体化に向かう動きが始まったヨーロッパと、明を中心とした国際秩序に向かうヨーロッパを対比的にみる事が出来る。ヨーロッパがアジアに進出を始めたころ、アジアでは清という強大な帝國が成立し、繁栄していたことに注目することが出来る。	
			2		
			2		
10	15 大航海とアメリカ征服 16 新しい時代の始まりとルネサンス 17 宗教改革	スペイン・ポルトガルの海外進出、アメリカの征服・植民地化 新しいヨーロッパ、イタリアとネーデルラント、科学技術、戦争の時代  信仰の刷新、ルターと諸侯、カルヴァンとユグノー、イギリス国教会、カトリックの改革	2	アメリカ先住民の国家・文明が、少数のヨーロッパ人の手でもろくも滅ぼされてしまったなぜか、その原因を考察できる。近代世界の開闢を世界観・人間観を含む文化・思想の上で告げるものとしてのルネサンスの歴史的意義に気付くことが出来る。	中間考査
			2		
			2		
11	18 スペインの時代からオランダの時代へ	スペインの黄金時代、オランダの繁栄、17世紀の戦乱、主権国家体制。	2	新大陸のもたらした富が、スペイン世界帝國の繁栄の基礎をなしたことを理解し、また、スペインが没落してオランダが派遣を握った要因を多面的に考察できる。	
			2		
			2		
12	19 絶対王政と議会王政	フランス議会王政、イギリス議会王政	2	17世紀イギリスの2つの革命について、その命名の理由を明らかにすることを通じて、両者の性格の違いの相違についても理解できる。	期末考査  終業式
			2		
			2		
1	20 東ヨーロッパの専制 21 大西洋経済	東ヨーロッパの社会と政治、プロイセンとオーストリア、ロシア帝國  ヨーロッパ経済の成長、大西洋の三角貿易、西欧を中心とする経済	2	オーストリアやプロイセンなどの宮廷とモーツァルトらの音楽家の関係に興味を抱くことが出来る。  三角貿易と呼ばれる循環貿易の一環についての理解を深める。	始業式
			2		
			2		
2	第三章 近代の世界 22 啓蒙とアメリカの独立	啓蒙の世紀、革命の時代、アメリカ独立革命。	2	啓蒙思想誕生の背景を多面的にとらえ、その後のヨーロッパにあたえた影響を客観的に整理できる。	学年末考査
			2		
			2		
3	1年間のまとめ		2	1年間の学習のまとめをおこなう。	終業式

教科名	数学	科目名	数学演習	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 ビジネス総合科 情報総合科	履修形態	必修	授業形態	学級単位/ 一斉授業
科目の目標	進学や就職など多岐にわたる進路希望に対応し、社会生活を送る上で必要となる数学的思考方と基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				
学習内容の概要	1年生のときに学習した数学Ⅰ、数学Aの復習を中心に、様々な問題を通して数学Ⅰ、数学Aの知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。また、就職試験などに出題される問題演習で実践的な力を身に付ける。				
学習方法	基礎的な問題から、就職試験レベルのくせのある問題まで様々な問題を自らが解答することにより知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。また、教科書の説明を通じて基礎的な知識を習得し、練習問題を解くことにより内容理解と習熟の徹底を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。 評価については、観点別評価を踏まえるものとする。				
使用教材	最新 数学Ⅰ、A(数研出版)・新編実用数学セミナー				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	就職試験対策	就職試験問題集を自らが解き、解説と比較検討し、数学Ⅰ、数学Aの理解を深める。	2	各自購入している就職試験問題集を独力で解答することにより、数学Ⅰ、数学Aの基礎を理解すると共に、解答、解説を通して、より深く数学Ⅰ、数学Aの知識の習得と技能習熟を図る。	始業式		
			2				
			2				
5					2		中間考査
					2		
					2		
6					2		進路合宿
					2		期末考査
					2		
7					2		終業式
					2		夏期補習
					2		
8				始業式			
		2					
		2					
9		2	各自購入している就職試験問題集を独力で解答することにより、数学Ⅰ、数学Aの基礎を理解すると共に、解答、解説を通して、より深く数学Ⅰ、数学Aの知識の習得と技能習熟を図る。				
		2					
		2					
10		2			中間考査		
		2					
		2					
11		2			期末考査		
		2					
		2					
12		2			終業式		
		2					
		2					
1		2		始業式			
		2		卒業考査			
		2					
2		2					
		2					
		2					
3		2		卒業式			
		2		終業式			
		2					

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学 年 情報総合科	履修形態	必修	授業形態	単 独
科目の目標	自然科学の地学分野における一般的な教養を身に付けさせることを目標とする。				
学習内容の概要	地球を取り巻く自然環境と地球が属する太陽系または宇宙について考察する能力と態度を身に付けさせる。				
学習方法	教科書に沿って進め、視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解させる。				
評価の観点	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。				
・評価方法	平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	第一学習社「地学基礎」、第一学習社「ネオパルノート 地学基礎」				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出をさせる。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	1編 宇宙における地球	宇宙の構成 太陽の誕生と将来 太陽系の構造 生命の惑星・地球	20	ビッグバンから始まる宇宙の進化と、それに伴ってできた恒星や銀河について学ぶ。 また、私たちが住む地球を含めた太陽系の成り立ちと、太陽や諸惑星の特徴を理解する。	始業式
5					中間考査
6					期末考査
7	2編 活動する地球	地球大きさ 地球の内部構造 プレート運動 火山の分布 地震のしくみ	20	私たちの住む地球の構造を理解し、地球の表層・内部では様々な変化がおきていることを学ぶ。 地震のメカニズムや地震災害、火山の種類と噴火によってできた火成岩について学ぶ。	終業式
8					始業式
9					
10	3編 移り変わる地球	地層の形成 化石 地質時代とその区分	20	地球表層環境と生物の進化との関わりを学ぶ。 また、地層の形成過程や地質構造とその変化について理解を深める。	中間考査
11					
12	4編 大気と海洋 5編 地球の環境	大気構成 地球の熱平衡 大気の大循環 海洋の大循環 地球の環境 日本の自然環境	20	地球環境の変動や自然災害について、これからの地球環境の保全に向けた取り組みや代替エネルギーについて学ぶ。	期末考査
1					終業式
2					始業式 卒業考査
3					

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 情報総合科	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・マット運動・サッカーを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事		
4	陸上	跳躍	3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式		
5		投てき	3 3 3		中間考査		
6		競走	3 3 3		期末考査		
7		跳躍・投てき・競走	3 3		測定。	終業式 夏期補習	
8			3			始業式	
9		バレーボール	パス		3 3 3	パスの種類を覚える。 (オーバーパス、アンダーパス) 正しいパスの仕方を学ぶ。	学校祭
10			ドリブルシュート		3 3 3	サーブの種類を覚える 正しいアタックの仕方を覚える	中間考査
11	ゲーム		3 3 3	協調性を高める学習をする。	期末考査		
12	バスケットボール	パス	3 3 3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	終業式		
1		ドリブルシュート	3 3 3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式		
2		ゲーム	3 3 3	協調性を高める学習をする。	入試 期末考査		
3					終業式		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 情報総合科女子	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を完成させる。				
学習方法	陸上・バドミントン・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに常に互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	陸上	跳躍	3	自己の能力に応じた課題を目指し計画的な練習の工夫を工夫する。	始業式	
5		投てき	3		中間考査	
6			3			
			3			
			3			
6		競走	3		期末考査	
7		跳躍・投てき・競走	3			測定。
8	バドミントン	サーブ	3	サーブの種類を覚える 回数を決めて連続で打ち合えるようにする。	始業式	
9		乱打	3		学校祭 中間考査	
10		スマッシュ	3			
		ゲーム	3		スマッシュの種類を覚えて、思い切り打てるようにさせる。	
11			3		協調性を高める学習をする。	期末考査
			3			
12	バスケットボール	パス	3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	終業式	
1		ドリブルシュート	3		ドリブルとシュートのタイミングに注意しながら練習する。	始業式
2		ゲーム	3			入試
			3		期末考査	
3				終業式		

教科名	外国語(英語)	科目名	英語演習I	単位数	2単位
対象学年	第3学年 情報総合科	履修形態	必修	授業形態	学級単位
科目の目標	最も基本的な中学校の英語の復習からスタートし、高校の英語力も身につけることができるようにする。				
学習内容の概要	異文化理解・国際理解を中心テーマに、地球環境問題、国際協力、比較文化、言語と民族、外国の高校生活、物語など、多彩な題材をとりあつかう。				
学習方法	生徒の実態に応じて、問題集やプリントなど補助教材を併用し、中学校における基礎的な学習事項を復習整理し、習熟するように指導する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	VISTA English Communication (三省堂) TRY YOUR BEST 基本英文法 WORKBOOK (浜島書店) ベーシック プロGRESS 英和・和英辞典 (小学館)				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Vista English Com. I Lesson8 WORKBOOK	モタラー地雷で足を失ったゾウは、その後…	2 2 2	受け身 人間のおこなっていることなどのような面をモタラの話が象徴しているか考える。	始業式
5	TRY YOUR BEST  TRY YOUR BEST	受動態(1)～(4)  関係詞(1)関係詞(2)	2 2 2		中間考査
6	Vista English Com. I Lesson9 WORKBOOK	ミッフィーの生みの親、ディック・ブルーナ	2 2 2	関係代名詞 「ミッフィー」でおなじみのディック・ブルーナーの社会的役割を知る。	期末考査
7	TRY YOUR BEST	まとめ	2 2		終業式 夏期補習
8	TRY YOUR BEST	関係詞(5)	2		始業式
9	Vista English Com. I Lesson10 WORKBOOK TRY YOUR BEST	ピアニスト、辻井伸行  代名詞(2)	2 2 2	関係副詞・形式主語It 辻信行さんのインタビューを通して、偉業を達成するためには何が大切かを考える。	
10	Vista English Com. I Lesson11 WORKBOOK	自然からの贈り物	2 2 2	分詞構文 自然界からヒントを得て作られたものが私たちの暮らしを便利にしていることを知る。	中間考査
11	TRY YOUR BEST	分詞(1)分詞(2)	2 2 2		期末考査
12	Vista English Com. I Lesson12	ジョブズが私たちに残してくれたものは	2 2 2	仮定法過去 革命をもたらしたスティーブジョブズについてのブログを読んで、彼が語った言葉の持つ意味を考える。	終業式
1	WORKBOOK TRY YOUR BEST	仮定法(1)接続詞(6)	2 2 2		始業式 卒業考査
2	WORKBOOK TRY YOUR BEST	総復習	2 2 2		
3					卒業式

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 情報総合科	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	人の一生と家族・福祉, 衣食住, 消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
学習内容の概要	ともに生きる社会をめざして 人の一生と家族・家庭・福祉 自立した生活をめざして 生活の自立と健康・安全				
学習方法	・新聞等で社会の動きを把握するとともに, 自分の家庭及び地域の実態にも目を配り, そこに存在する生活課題を見つけ, 課題意識を持つ。 ・問題解決の過程を大切に, 授業で身に付けた知識や技術を日常生活の中で生かし, 日々の生活改善, 充実に努める。				
評価の観点・ 評価方法	・評価の観点は①家庭科への関心, 意欲, 態度 ②生活課題を主体的に解決するために思考, 判断 ③基礎的, 基本的な技術の習得状況及び表現 ④知識, 理解 の4項目とする。 ・評価の方法は, 規定に従い考査の成績とノート, プリント提出状況, 実習への参加, 態度などを各学期ごとにまとめる。また, 授業中の学習態度, 出席状況について考慮し, 総合的に評価する。				
使用教材	「家庭基礎 ともに生きる・持続可能な未来つくる」(第一学習社), 課題プリント				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	1章 これからの生き方と家族	第1節 青年期を生きる 第2節 家族・家庭と社会とのかかわ	2 4	人の一生を生涯発達の視点でとらえ, 家族・家庭の意義を理解し, 家族の一員としての意識を持つ。	始業式
5	2章 次世代をはぐくむ	第1節 子どもの発達 第2節 親の役割 第3節 子育て支援と福祉	3 2 2	子どもの発達, 保育, 福祉をとおして, 健全な発達を支える親や社会の役割を理解し, 保育への関心を深める。	中間考査
6	3章 充実した生涯へ 4章 ともに生きる	第1節 高齢期を生きる 第2節 高齢社会を支えあう 第1節 境保障制度と福祉 第2節 ともに生きる社会をめざして	2 2 2 1	高齢者に対する正しい認識から介護の基礎など体験的な学びと役割を知る。 くらしを支える福祉のあり方を理解する。	
7	5章 食べる	第1節 人の一生と食事 第2節 栄養と食品	3 3	栄養・食品・調理・食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得し, 家族の食生活を健康で安全に営むことができるようにする。	期末考査 終業式
8	5章 食べる	第3節 食生活の安全のために	2		始業式
9	5章 食べる	第4節 食生活をデザインする	8		学校祭
10	6章 装う	第1節 人の一生と被服 第2節 被服材料と管理	4 4	衣服の機能や着装, 材料などの基礎的な知識と技術を習得し, 家族の衣生活を健康で快適に営むことができるようにする。	中間考査
11	7章 住まう	第1節 人の一生と住まい 第2節 住生活の計画と選択	4 4	住居の機能, 住生活と健康, 安全などに関する基礎的な知識と技術を学び, 家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。	
12	8章 経済生活を営む	第1節 私たちの暮らしと経済 第2節 消費者問題を考える 第3節 持続可能な社会をめざして	2 2 2	家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を学び, 現代の消費生活の課題を認識し, 消費者として責任をもって行動できるようにする。	期末考査 終業式
1	9章 生活をデザインしよう 10章 生活の充実・向上をめざして	これからの生活を考える 「ホームプロジェクト」と「学校家庭クラブ活動」	4 2	家庭科の学習から課題を見つけ生活に生かす。	始業式 卒業考査
2					
3					卒業式

教科名	商業	科目名	課題研究	単位数	3
対象学年	第3学年 情報総合科 情報コース	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する態度を育てる。 特に、近年急速に普及してきたハイビジョンに対応した高画質の画像編集の習得。				
学習内容の概要	ビジネスを実践するための基礎・基本の能力や、スペシャリストを目指すための基礎・基本となる能力を育成する。				
学習方法	PowerDirectorを使い、静止画、動画の加工・編集を通しコンピュータの有効利用を学ぶ。 実習課題を行い理解をさらに深めていく。そのため放課後にも自由にコンピュータを使用できる環境を整備し提供する。				
評価の観点・ 評価方法	各学期でPowerDirectorを基に課題作品や自主テーマ作品を制作する。本校の内規に定める平常点(20%)の部分と出席点(10%)、課題作品点(70%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	CyberLink社PowerDirectorオフィシャルブック 副教材、その他 各種プリント				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	PowerDirectorの基礎	・トランジション ・エフェクト ・タイトル ・トリミング ・BGM	11		入学式
5		動画作成(30秒) 発表	10		中間考査
6		動画作成(30秒) 発表	16		
7		動画作成(60秒) 発表	10		期末考査
8					終業式 始業式
9	PowerDirectorの活用	・3Dムービー  ・PIP ・ペイントデザイナー ・パーティクルエフェクト	16		全商情報処理検定
10	Magic Movie の利用	PowerDirector個人作品発表	16		中間考査
11	EDIUSの利用	・エフェクト・タイトル・オーサリング	16		
12		動画作成(60秒) 発表	10		期末考査
1			3		終業式 始業式
2					卒業考査
3					卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	文書デザイン	単位数	2単位
対象学年	第3学年 情報総合 情報コース	履修形態	必修	授業形態	実習
科目の目標	① 文書作成ソフトを活用し、効果的な文書を作成する。 ② 文書作成にかかわる技術や専門知識を習得する。 ③ タッチタイピングの技術を向上させる。 ④ 全商ビジネス文書検定試験1級の合格を目指す。 ⑤ 文書作成ソフトの様々な機能を習得し、活用できるようにする。				
評価の観点・ 評価方法	① 授業中の課題・実習などの提出状況及びその内容。 ② 出欠状況及び授業に対する取り組み方。 ③ 定期考査の得点。				
使用教材	Word実習問題集・ビジネス文書検定問題集				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	応用文書の作成	文書作成 文章の入力練習	6	様々な編集機能を活用し、文書を作成する。	始業式
5	演習	文書作成演習 文章の入力練習	6	様々な編集機能を活用し、制限時間内に指示された文書が作成できるようにする。	中間考査
6			8		ビジネス文書検定 期末考査
7	表現力に富んだ文書の作成	書式設定とスタイル 文字書式 段落書式	6	書式とスタイルを活用し、応用文書が作成できるようにする。	終業式
8	Word応用	スタイルの登録と利用	2		始業式
9	Word応用	オブジェクトの利用 グラフの作成	8	オブジェクトに関する様々な機能を活用できるようにする。	
10	Word応用	SmartArt 図形の編集	8		中間考査
11	Word応用	クイックパーツの活用	8	クイックパーツに関する機能を活用できるようにする。	ビジネス文書検定 期末考査
12	Word応用	地図の貼付け 画像の調整	6		終業式
1	Word応用	差し込み印刷	6	作成した文書の印刷方法についてより実用的な技術を身につける。	始業式 卒業考査
2			8		
3					卒業式

教科名	商業	科目名	コンピュータデザイン	単位数	4
対象学年	第3学年 情報総合科	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	デジタル化の波はあらゆる場面で波及している。PhotoshopとIllustratorは、デジタル画像を扱う定番のツールであり、デザインの専門家でなくとも、ホームページを制作や、営業・企画でプレゼンテーションをするうえで使いこなせると便利なツールである。PhotoshopとIllustratorの基礎操作・知識を中心に学習し理解する。				
学習内容の概要	Photoshopは写真修正、Illustratorはイラストの描画に優れており、この2つの基礎知識と基本操作ができるように学習し、自主作品を制作する。				
学習方法	コンピュータ室での実習が中心になる。そのため昼休憩や放課後にも生徒が自由にコンピュータを操作できる環境を整備し、作品制作の時間がより多くもてるようにする。				
評価の観点・ 評価方法	各学期でPhotoshopとIllustratorを基に課題作品や自主テーマ作品を制作する。本校の内規に定める平常点(20%)の部分と出席点(10%)、課題作品点(70%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	実教出版 コンピュータデザイン、Photoshop&Illustrator 副教材、その他 各種プリント等				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Photoshopの基礎	Photoshopの基本操作 ドキュメントウィンドウ ペイントツール・択範囲 画像の補正・色調補正 画像の合成・フィルタ ロゴの作成・WEB素材	54	Photoshopの写真素材の画像 編集の基礎知識および基本操作 の理解	始業式
5					中間考査
6					3年進路合宿
7	Illustratorの基礎	Illustratorの基本操作 基本図形の描画・パスの作成 オブジェクトの編集 ポストカードの作成 イラストの作成 ロゴ・デザインの作成 シンボルマークの作成 地図の作成 グラフの作成	68	Illustratorでイラスト描に画の関 する基礎知識および基本操作 の理解	期末考査
8					終業式
9					始業式
10					全商情報処理検定 中間考査
11					
12		作品制作	22	Photoshop・Illustratorの学習 を基に各自のテーマで作品制作 し提出	期末考査
1					終業式 始業式
2					卒業考査
3					卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	ビジネスアート	単位数	4 単位	
対象学年	第3年情報総合科アートコース		履修形態	必修	授業形態	クラス別一斉
科目の目標	デザインの基礎をもとに実用的なアート作品を制作・発表します。					
学習内容	デザインを中心に実用的なアートの技術を学びます。					
学習方法	基礎的技術をもとに実習・制作を行います。					
評価の観点 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については、授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し評価する。					
使用教材	実教出版「商業技術」・アイシー「ART KIT」マンガ・イラストの描き方 日本色研「カラー&ライフ」・日本色研「色彩」					
その他	補習（進度・習熟度に応じて実習中心に補習を行う）					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	学校行事	備考
4	デザインの実習	実用的なアートを分野別にデザインする	1 2	ラフスケッチを制作する	始業式	
5	色彩の応用	色彩見本の作製 造形学習	1 5	表現する喜び 色彩の大切さ 見本の作成	中間考查	
6	漫画・ポスター シルバーアクセ サリー選択	制作計画の作成	1 6	計画案の発表・計画案の見直し		
7	小品の作成	複数の小品作成	1 2	複数の小品作成により、完成作品の問題点を探り、改善する	期末考查 終業式 夏期講座	
8	小品見本発表	視覚学習	4	各自、見本発表	始業式	
9	作品の見直し	作品の見直し	1 6	作品の最終決定		
1 0	作品制作	漫画作品制作 ポスター シルバーアクセサリー 選択	1 6	作品制作	中間考查	
1 1	作品制作	漫画作品制作	1 6	作品制作		
1 2	作品制作	漫画作品制作	1 4	作品制作	期末考查 終業式	
1	作品完成・発表 レポート提出	漫画作品完成・発表 レポート提出	1 0	作品完成 発表（米子市美術館） レポート提出	始業式 卒業考查	
2	レポート提出	レポート提出	1 4	レポート提出		

教科名	商業	科目名	課題研究	単位数	3単位	
対象学年	第3年情報総合科アートコース		履修形態	必修	授業形態	2クラス合併
科目の目標	デザインの基礎・表現・実際を学習・習得します。					
学習内容	衣食住に必要なデザインを学びます。					
学習方法	基礎的技術をもとに実習・制作を行います。					
評価の観点 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については、授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し評価する。					
使用教材	実教出版「コンピュータデザイン」					
その他	補習（進度・習熟度に応じて実習中心に補習を行う）					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	学校行事	備考
4	造形の基礎	デザインとは、何かを学ぶ	7	デザインがもたらすものを理解させる	始業式	
5	造形の要素	形態・色・材質感・空間・時間	13	造形の要素を理解させる	中間考查	
6	造形の構成	構成の基本	10	数理的秩序・調和を理解させる		
7	観察から表現へ	観察 表現の課程と技法	9	観察から表現する	期末考查 終業式 夏期講座	
8	観察から表現へ	観察 表現の課程と技法	3	観察から表現する	始業式	
9	メッセージと表現	記号による意味	12	表現アイデアの手法		
10	身近な生活のデザイン	自分をデザインする	14	自分をデザインする	中間考查	
11	身近な生活のデザイン	学校をデザインする	11	学校をデザインする		
12	身近な生活のデザイン	学校を情報化する	9	学校を情報化する	期末考查 終業式	
1	知らせるデザイン	広告ポスターを作る	9	作品完成・発表	始業式 卒業考查	
2	知らせるデザイン	手紙をデザインする 学級新聞をデザインする	11	手紙をデザインする 作品完成・発表		

教科名	商業	科目名	マルチメディア基礎	単位数	2
対象学年	第3学年 情報総合科 情報コース	履修形態	必修	授業形態	分割クラス単位
科目の目標	ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する態度を育てる。 プレゼンテーションの基礎能力を育てる。				
学習内容の概要	ビジネスを実践するための基礎・基本の能力や、スペシャリストを目指すための基礎・基本となる能力を育成する。				
学習方法	実習課題を行い理解をさらに深めていく。そのため放課後にも自由にコンピュータを使用できる環境を整備し提供する。 PowerPointをツールとして使用し画面構成等の基本を理解する。				
評価の観点・ 評価方法	年間3回の作品制作と2回の発表を行う。実習課題は、本校の内規に定める筆記試験点(70%)の部分を 実習点(70%~80%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	副教材、その他 各種プリント				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	プレゼンテーション	PowerPointの基本操作	10	プレゼンテーションとは	入学式
5		PowerPointの応用操作	20	プレゼンテーションのテクニック	中間考査
6		PowerPoint個人作品作成①		作品①作成。課題に従って作成	
7					期末考査
8					終業式
9		PowerPointの応用操作	14	プレゼンテーションのテクニック	始業式
10		PowerPoint個人作品発表①		作品①発表。プレゼンテーションの実施。進行や表現の工夫。	全商情報処理検定
11		PowerPointの応用操作	28	プレゼンテーションの実施と反省	中間考査
12		PowerPoint個人作品作成②		作品①の改善点を踏まえ、作品②の作成。	
		PowerPoint個人作品発表②		作品①の改善点を踏まえ、作品②の発表。また、進行・表現の再確認。	期末考査
1					終業式
2		PowerPoint個人作品作成③		過去の改善点を踏まえ、作品③の作成。	始業式 卒業考査
3					卒業式
					終業式

教科名	商業	科目名	WEBデザイン	単位数	2
対象学年	第3学年 情報総合科	履修形態	選択	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	WEBページを作成するための基礎知識・技術を習得し、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について考え、利用者の立場に立ったWEBページを制作できるようにする。				
学習内容の概要	HTMLの学習を通じて、WEBページ作成における基礎知識を習得する。また、ホームページ作成ソフトウェアを使用することにより、ホームページを作成する知識や技術を習得する。				
学習方法	「メモ帳」を利用してHTML言語による簡単なWEBページの制作により、WEBページ制作の基礎を学び、ホームページビルダー17(ホームページ作成ソフトウェア)により、ソフトウェアを利用してのWEBページを制作する技術を習得する。コンピュータを利用しての実習形式。				
評価の観点・ 評価方法	定期考査及び授業での課題に出席状況を加味し総合的に評価する。 また、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	ホームページ検定 各種プリント				
その他	使用ソフト:ホームページビルダー17				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	WEBページの基礎	WEBページ制作の基礎	26	WEBページの基本構造を理解させる。	入学式
5		基本的なWEBページの制作		HTML言語によるWEBページを制作し、言語の基礎を習得させる。 練習問題による課題。	中間考査
6					
7					期末考査
8					終業式 始業式
9	ソフトウェアを利用したのWEBページ作成	WEBページ制作ソフトの基本操作	32	ホームページビルダーの基本操作。 共通課題による実習。	全商情報処理検定
10					中間考査
11		個人課題の制作・発表	14	ホームページビルダーを使用し、今までの学習を踏まえて、個人ごとの課題を制作し、発表・提出。	
12					期末考査
1					終業式 始業式
2					卒業考査
3					卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	コンピュータミュージック	単位数	2
対象学年	第3学年 情報総合科	履修形態	選択	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	音楽の基礎知識及び音楽作成ソフトに関する知識と技術を習得させ、コンピュータによる音楽の構造を理解させる。デジタル音楽とアナログ音楽を組み合わせによる音楽の可能性・メリットなどを考えさせる。また、学習を通じ音楽のすばらしさを体感させる。				
学習内容の概要	音楽の知識と音楽作成ソフトの技術を習得する。 ギターによるコード演奏。				
学習方法	音楽の基礎知識を理解させ、音楽作成ソフト(シンガーソングライター)を使用して実習課題を作成させる。 音楽作成ソフト(ボーカロイド)による単旋律による課題を作成させる。 簡単なギターによるコード演奏と音楽作成ソフトで作成したデジタル音楽を組み合わせる。				
評価の観点・ 評価方法	授業内に、小テスト、簡単な演奏テストを実施する。 授業ごとに課題を課し、意欲、態度を総合的に評価する。 さらに各グループに分かれ、グループごとによる発表を行う。				
使用教材	音楽作成ソフト(シンガーソングライター・ボーカロイド) エレキギター 上記に関するテキスト				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	音楽の基礎知識Ⅰ	音部記号を理解し、簡単な音階を歌わせる。	26	テキストによる学習	入学式
5	音楽の基礎知識Ⅱ	音符・休符の種類と長さを学習する。		小テストを実施	中間考査
6	音楽の基礎知識Ⅲ	拍子記号の意味を理解する。		小テストを実施	
7	音楽作成ソフト	楽譜の基本的な記譜法を学んだ上で、音楽作成ソフトに楽譜を入力させる。		シンガーソングライターを使用	期末考査 終業式
8	コード	コードによる響きの違いを理解させ、音楽作成ソフトにコードを入力する。		シンガーソングライターを使用	始業式
9	複数の音楽作成ソフトの組み合わせ	ボーカロイドによる単旋律、シンガーソングライターによる伴奏を組み合わせ楽曲を完成させ	32	シンガーソングライター・ボーカロイドを使用	全商情報処理検定 中間考査
10	課題曲の入力	ボーカロイドによる単旋律、シンガーソングライターによる伴奏を組み合わせ楽曲を完成させ			
11					
12	グループ発表	各グループで発表し、各グループごとの音楽の違いなどを理解させる。			期末考査 終業式
1	グループ発表	各グループで発表し、各グループごとの音楽の違いなどを理解させる。	14		始業式 全商情報処理検定 卒業考査
2	まとめ	考査で音楽作成ソフトの組み合わせを行う。			学年末考査
3		これまでに学習したまとめを行い、音楽作成ソフトの音楽の構造を理解させる。			卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	マンガ・イラスト	単位数	2単位	
対象学年	3年 情報総合科 KL		履修形態	必修	授業形態	クラス別一斉
科目の目標	マンガ・イラストの基礎的な技術の習得を目指します。					
学習内容	マンガ・イラストの基礎知識を実習を通して学びます。					
学習方法	基礎的技術をもとに実習・制作を行います。					
評価の論点 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については、授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し評価する。					
使用教材	アイシー「漫画・イラストの描き方入門」					
その他	補習（進度・習熟度に応じて実習中心に補習を行う）					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	学校行事	
4	イラストの基本	イラストの描き方	6	イラストを描く工程を実際に体験することで、道具の使い方や描き方を学ぶ	始業式	
5		人物の描き方	6	頭身、男女の骨格の違い、顔の向きによる描き分けを学ぶ	中間考查	
6	マンガの基本	マンガの描き方	8	マンガを描く工程を学ぶ	期末考查	
7		効果や背景	6	マンガの効果や背景について学ぶ	終業式 夏期講座	
8		マンガの模写	2	マンガを模写し、完成させる	始業式	
9		ストーリーの作りか	8	新聞や例題から四コマ・風刺画について学ぶ		
10	マンガ・イラストの実習	ストーリーの作成	8	四コマもしくはストーリーマンガの話を考え、確認する	中間考查	
11		マンガの下書き	8	実際に原稿用紙に描いていく		
12		マンガの完成	6	完成させる ただし、習熟度によっては、四コマ・八コマに切り替えさせる	期末考查 終業式	
1		発表	6	完成させたものを発表する	始業式 卒業考查	
2					期末考查	
3					卒業式 終業式	